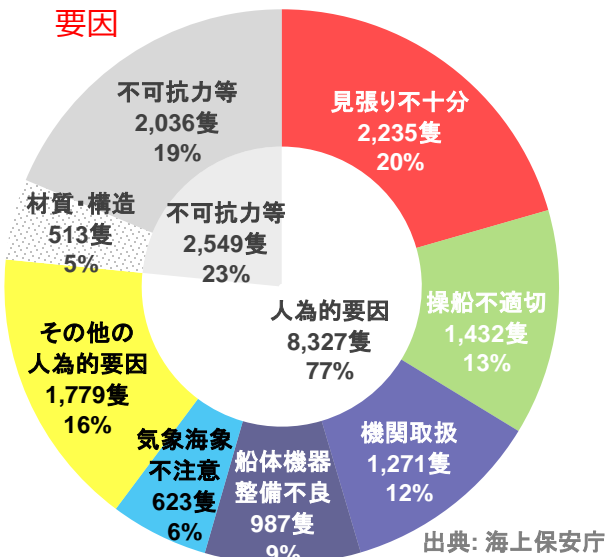


自動運航船に係る課題、背景、効果

課題

- 海難の約8割が見張り不十分等の**人為的要因**



- 世界の海上輸送量の着実な増加に伴い、今後、世界の**船員需給が逼迫の見通し**
- 日中韓の造船業の競争激化。省エネ性能に続く、日本の造船・船用工業の**競争優位分野確立の必要性**

自動運航船への注目

- 情報通信技術等を活用して、遠隔による操船支援や見張りの自動化、機関故障の予知・予防を可能とする自動運航船に注目
- 欧州等においてプロジェクトが開始されており、世界的に競争が激化

【自動運航船で可能となること (例)】

- ✓ 遠隔および機械による見張り・操船支援
- ✓ 離着岸支援・自動化
- ✓ 機関監視と故障予知・予防

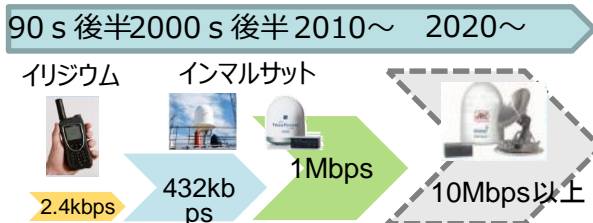


これからの海運・造船・船用工業の競争力を左右

先端的技術開発・実証の促進 } を車の両輪として推進し
国際基準・規格策定の主導 } 2025年の実用化を目指す

通信・技術環境の進展

- 海上ブロードバンド通信の発展



- センサー、IoT、AI、ビッグデータ処理技術の急速な進歩
- 自動船舶識別装置 (AIS)、電子海図 (ECDIS)等の普及

効果

- 海上輸送の安全性、効率性の向上
- 船員労働環境改善・職場の魅力向上
- 海運・造船・船用工業等の海事産業競争力向上